

令和5年度 三股町立宮村小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン 【 体・徳・知の調和のとれた人間性豊かな実践力のある子どもの育成 】

4:期待どおり 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	ポイント			自己評価	結果の考察・分析および改善策等	学校関係者評価	
		児童	保護者	職員			意見	評価
【知育】	■目標 「確かな学力の向上と定着」 ■手段 1 実態や特性の多角的な理解による「個別最適な学び」「協働的な学び」の展開 2 読解力・表現力の育成 3 地域素材・人材の活用	1	3.6	3.3	3.1	○ 理由や根拠を明確にして話したり、書いたりする学習を充実させ、思考力・判断力・表現力を育ててきた。また、個の実態に応じた指導の工夫を行った。 ○ ICT機器（タブレット）を活用して、学習の効率化を図るとともに、子どもたちの基礎学力の定着や情報教育の充実を図った。 ○ 新聞を上学年教室前の廊下に常備したり、読み聞かせボランティア活動で保護者や地域の方に来ていただいたりして、本や活字に触れる機会の充実を図った。今後も、読書活動が習慣化するような取組を充実させていきたい。 ○ 家庭と連携して、家庭学習の習慣化と充実を図ることで、読解力や表現力の育成を図った。	○ 学力向上の取組、充実した学習指導ができていていると思う。 ○ 現時代の子どもたちには、タブレット活用の学習は必要だと思う。 ○ 社会のIT化そして、AI。若い年代に情報教育を行うことは必要と思う。 ○ ALTの英語教育の成果はどうだろうか。 ○ 読み書き・そろばんが基礎だと思う。 ○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化への充実した取り組みで、もっとよい成果があがるのではないかと。 ○ 今の時代の流れで教育の方法も変化しなくてはならないと思う。子どもたちの個性と教育のバランスを大切に実施されており、先生方の努力を継続してほしい。 ○ 宮日こども新聞等にも宮村小児童の投稿等もあるとういと思う。	3.6
		1	3.6	3.4	3.8			
		2	3.5	2.8	3.2			
		3	3.1	2.4	2.7			
【徳育】	■目標 「積極的な生徒指導の展開と豊かな心の育成」 ■手段 1 基本的な生活習慣や態度の定着 2 児童への共感的理解 3 望ましい人間関係の育成	1	3.6	3.2	3.4	○ あいさつや返事の習慣化を図るとともに、進んで、気持ちのよいあいさつができるように、家庭や地域と連携した指導や見届けを行った。 ○ 学校生活や放課後の過ごし方等のルールやきまりを守ろうとする態度が身に付くように、家庭や地域と連携した指導の充実を図った。 ○ 身の回りの整理や準備・後始末をする態度が身に付くように、家庭と連携してに日常的に指導を行った。 ○ 児童アンケートを毎月実施するとともに、教育相談や教師間の情報共有を行い、学校全体で、いじめ防止や不登校対策を行った。	○ あいさつや返事が大事なことが分かっている子どもは自分から行っている。 ○ あいさつについては、全児童が明るく元気のよいあいさつができています。礼儀正しい。 ○ 学校便りを配達する児童のあいさつはよくできています。 ○ 今社会的に常識が通じないことがありますが、生きていくための基本的行動やマナーの知識は必要不可欠だと考える。	3.6
		1	3.7	3.1	3.5			
		1	3.2	2.9	3.1			
		2 3	3.5	3.0	3.7			
【体育】	■目標 「健康教育の推進と体力の向上」 ■手段 1 家庭との連携による新しい生活様式を含む健康的な生活習慣の定着 2 体力の向上 3 安全に活動できる施設環境の整備	1	3.6	3.3	3.3	○ 健康的な生活習慣の定着と感染症対策の徹底に努めた。 ○ 健康の保持増進に向けた取組（早寝早起き朝ごはん、歯みがき、むし歯治療等）を家庭と連携して行った。 ○ 感染症や熱中症対応で運動量の十分な確保が難しい時もあったが、ルール等を工夫して体力向上に向けた授業や学校行事の充実、外遊びの奨励を行った。 ○ 廊下歩行や教室での過ごし方、交通安全等を含めた安全・安心な学校環境づくりや安全指導の充実を努めた。	○ 外で遊ぶことが大事だと思う。 ○ コロナが5類に分類されているが、感染対策の継続は今後もお願いしたい。地域とのかかわりが今後発展されることと思う。 ○ コロナウィルスが下火になったので、運動会を地区住民に周知してほしい。 ○ 家庭の協力も必要であり、毎年実施されている長距離走等も良いと思う。	3.6
		1	3.2	3.3	3.3			
		2	3.5	3.3	3.5			
		3	3.3	3.3	3.4			
【その他】	■目標 「地域とともにある学校づくり」 ■手段 1 家庭や地域との連携と、PTA活動・地域行事への参加 2 地域保護者への情報発信 3 子ども郵便局等の取組によるキャリア教育の充実 4 学校運営協議会制度の推進	1		3.4	3.2	○ 奉仕作業やPTAバザー、立ち番指導等、子どもたちの健やかな成長のために、家庭や地域と連携して活動の充実を図った。 ○ ホームページの定期的な更新や学校便りの発行をはじめ、学級通信等を通して情報発信を行った。 ○ 「みまるとの日」「3のつく日」の活動や、学校の子ども郵便局の取組等を通じて、ふるさと教育やキャリア教育の充実を図った。 ○ 子どもたちの登校の安全を確保するために、「みまもりたい」を発起し活動していただいた。次年度に向けて、組織を見直し、学校運営協議会の役割をしっかりと共通理解した上で、地域を巻き込んだり活発な活動を展開していきたい。	○ 地域行事等への参加は学校としても子どもたちも必要だと思う。伝統あるこども郵便局の設置等他の学校にない取り組みであり、金銭教育も必要だと思う。 ○ 小学生時代の生活習慣の習得に努力されていることに感謝している。 ○ 学校便りを定期的に配達していただけるので、学校の状況がよく分かる。 ○ 子どもたちの安全を見守る「みまもりたい」のより若い方々の人材の登用等を公民館側と話し合う必要があると思う。	3.6
		2		3.3	3.3			
		3 4		3.5	3.5			